公共施設評価書（社会体育施設）

番号	38	施設名	掛川市大東体育館	担当課名	社会教育課	記入者職氏名	主事　小野田貴文

1　コスト情報　　（単位：円、%）

区分		H20決算額	H21決算額	H22決算額	H23当初予算額	備考
(1)運営コスト（A）	①人件費	8,134,000	7,294,000	7,294,000	7,250,000	
	②印刷・事務用品、通信費、燃料費、旅費、図書費など	520,680	639,061	687,485	713,000	
	③借上料	729,288	1,430,604	1,335,978	1,297,000	
	④保険、消費税（租税公課）等	477,870	492,870	495,870	494,000	
	⑤その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	643,565	533,279	325,645	307,000	
	計	10,505,403	10,389,814	10,138,978	10,061,000	
	対前年度増減率		△ 1.1	△ 2.4	△ 0.8	
(2)施設コスト（B）	①管理委託費(外注費)	950,070	1,133,118	1,027,152	1,171,000	
	②修繕費	453,553	711,888	419,024	200,000	
	③光熱水費	2,485,438	623,235	845,909	781,000	
	④燃料費					
	⑤その他(施設消耗品)	2,067,897	694,945	568,937	500,000	
	計	5,956,958	3,163,186	2,861,022	2,652,000	
	対前年度増減率		△ 46.9	△ 9.6	△ 7.3	
(3)トータルコスト（施設管理費　合計）（A）＋（B）		16,462,361	13,553,000	13,000,000	12,713,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		63.8	76.7	78.0	79.1	
(5)利用料収入		1,815,970	1,780,200	2,025,870	1,800,000	
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		17.3	17.1	20.0	17.9	

２ ストック情報

（単位：人、％、円、日）

区分		説明
１ 施設の状況	(1)設置目的	大東町民(合併前)の健康増進とスポーツ普及のため
	(2)施設機能	アリーナ(バスケットボール2面)、観客席(200席)、武道場(33m×20m)、会議室2(各90人収容)、トレーニング室、駐車場(最大85台)
	(3)建設年度	昭和51年度
	(4)耐震性の有無	無
	(5)将来予想される改修経費	取り壊し→新築をH25までに行う予定だった

区分			H20実績	H21実績	H22実績	H23当初	備考（稼働率の考え方）
２ 利用状況	(1)利用者数		35,129	35,308	33,761	0	
		①体育館	35,129	35,308	33,761		
	(2)稼働率						
		①体育館	平日昼間			56.00	
			平日夜間			86.00	
			休日昼間			68.00	
			休日夜間			72.00	

区分				H20実績	H21実績	H22実績	H23当初	備考
2 利用状況	(2)稼働率							
			平日昼間					
			平日夜間					
			休日昼間					
			休日夜間					
			平日昼間					
			平日夜間					
			休日昼間					
			休日夜間					
			平日昼間					
			平日夜間					
			休日昼間					
			休日夜間					
			平日昼間					
			平日夜間					
			休日昼間					
			休日夜間					
			平日昼間					
			平日夜間					
			休日昼間					
			休日夜間					

区分			H20実績	H21実績	H22実績	H23当初	備考
	(2)稼働率						
		1日平均利用者数					
		1日平均利用者数					
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名		NPO法人掛川市体育協会	NPO法人掛川市体育協会	NPO法人掛川市体育協会	NPO法人掛川市体育協会	
	(2)一人当たりの運営経費		299	294	300		
	(3)運営日数		315	314	313		
	(4)運営人員	①正規職員			2.0		
		②臨時職員			1.0		
	(5)利用エリアの位置づけ						

3 施設の評価

評価の観点	評価のポイント	判断（該当する「□」を塗りつぶす）	左の判断の理由
(1)施設目的の重要性	①目的は納得できる内容か ②社会的に重要な課題に関係しているか ③施設がないとどのようなデメリットがあるか	■重要性は高い □重要性は概ね高い □重要性は高くない	合併以前から掛川市大東区域のスポーツ活動の拠点としての役割を果たしている。
(2)施設の有効性	①施設規模と運営内容は課題解決に繋がっているか ②スポーツ人口は増加しているか ③今後も成果を見込めるか	□施設の有効性は高い ■施設の有効性は概ね高い □施設の有効性は高くない	利用者数合計は減少傾向にあり、市民の健康志向の高まりを受け利用しやすい施設としての位置づけをさらにアピールする必要があると思われる。
(3)将来の財政負担	老朽化などから将来の設備投資の予定額はどの程度か	□1千万円未満 □1千万円以上1億円未満 ■1億円以上	取り壊し後、新築の計画があった。
(4)管理運営費の妥当性	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費に削減の余地はないか	□管理運営費は妥当 ■管理運営費は概ね妥当 □管理運営費は妥当ではない	他市の同類施設や民間施設との比較が単純にできず、妥当かどうかの判断ができない。今後検証していきたい。

評価の観点	評価のポイント	判断（該当する「□」を塗りつぶす）	左の判断の理由
(5)収支差額の納得性	収支差額の状況は市民に理解が得られるか （市民とは競技団体以外の市民を含む）	□理解は得られる ■概ね理解は得られる □理解を得ることは難しい	収益をあげることよりも市民へスポーツ活動を行う場を提供することが本来である。しかし、指定管理者制度を採用している以上、市が直営する以上のメリットが結果として出ればいいが。
(6)類似施設・機能の有無	①官民を問わず、狭い範囲で同様な施設が立地していないか ②施設機能は近隣施設と重複しないか	□類似施設・重複機能はない ■類似施設・重複機能がある	東遠カルチャーパーク総合体育館、大須賀体育館と重複する施設、機能がある。
(7)施設機能代替の可能性の有無	①民間或いは他の公共施設（学校等）で代替できる機能はないか ②統合できる機能はないか	□代替の可能性はない ■代替の可能性はある	代替できる。
(8)運営形態の合理性	①指定管理者制度での運営が最適な運営形態か ②民間等への移管や移行はできないか	□現状は合理的である ■現状は概ね合理的である □現状は合理的ではない	H23.10～貸出中止。
(9)利用料金の設定	①利用料金の設定は適切か ②他市や民間の類似サービスと比較してどうか	□利用料金は適切である ■利用料金は概ね適切である □利用料金は適切ではない	市内の民間施設と比較し、大きく差がある料金設定がされているわけではない。
(10)収支改善の見込み	①コスト削減努力の余地はあるか ②利用者増は見込めるか	□改善は十分見込まれる ■改善の余地はある □改善は難しい	これまでも努力していると思うが、さらなる努力をすればさらなるコスト削減につながる余地はあるように考えられる。

４　指定管理者の評価

評価の観点	評価のポイント	判断（該当する「□」を塗りつぶす）	左の判断の理由
(1)管理運営の状況	①施設目的が発揮されているか ②公共性・公益性・公平性が確保できているか ③サービスの向上が図られているか	□適切に管理運営が行われている ■概ね適切に管理運営が行われている □管理運営は不十分	施設の貸出について、調整予約という方法を導入し利用者の希望を極力優先する貸出ができている。
(2)年度事業計画の内容及び実行性	①事業計画の内容が施設機能を最大限発揮する内容になっているか ②計画どおり事業が実施されているか	□事業の進捗は順調 ■事業の進捗は概ね順調 □事業の進捗は不十分	年度計画に沿って事業を展開されている。

評価の観点	評価のポイント	判断（該当する「□」を塗りつぶす）	左の判断の理由
(3)運営能力	①事業計画に沿った管理運営を安定して行う物的・人的能力を有しているか ②安全で安定した管理運営ができているか	□運営能力は非常に高い ■運営能力は高い □運営能力は高くない	各種のスポーツでの経験が豊富な職員によって管理運営され、施設の隅々まで気を配った管理がされている。施設の不備が発生さた場合も臨機応変な対応がされている。
(4)コスト削減の状況	①効率的な運営が行われているか ②経営の課題・問題点を把握しているか ③コスト削減に向けた取り組みをしているか	□改善努力は十分に行われている ■改善努力はある程度行われている □改善努力は不十分	結果としてまだあらわれていないが、全職員一丸となってコスト（特に光熱費）削減に向けた取組がされている。
(5)危機管理等の措置	①個人情報管理及び危機管理マニュアルは整備されているか ②他施設の事故等を即座に反映するなど積極的改善努力がみられるか	□適切な措置がとられている ■概ね適切な措置がとられている □措置は不十分	全職員対象の防災訓練の実施、事後検証をすることで危険と思われる箇所の確認、全員での意思統一がされている。また、全職員が普通救命講習も積極的に受講している。

５　総合評価

区分	評価の観点	検討のポイント	評価結果
現状総括	施設の意義・成果	①施設を維持する必要性は高いか ②施設は適切に管理運営され、成果を上げているか	市の南部地域のスポーツ施設としては重要な施設である。スポーツ事情に精通した体育協会職員により施設の維持・管理がなされている。
	施設の問題点・解決すべき課題	①施設が抱える問題点は何か ②解決すべき課題は何か	老朽化による施設の取り壊し後、新築計画があった。
区分	評価の観点	判断（該当する「□」を塗りつぶす）	左の理由・改善プランなど
今後の方向性	必要性の評価	□改善プランを策定し継続する □地域等で支える仕組みを検討する □運営形態を変更して継続する	当面の間、貸出を行わない。